

「年末年始無災害運動」実施要綱

(平成30年12月15日～平成31年1月31日)



1 趣旨

平成30年の栃木県の労働災害は、10月末現在、死亡災害が大きく増加し、すでに12人の尊い命が失われ、そのうち7人が交通事故により被災し、大変憂慮される状況にある。

さらに、休業4日以上死傷者数も1,395人と前年同期を47人3.5%上回る状況にある。

これから年末年始を中心にあわただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・始動等の作業が多くなるほか、積雪や凍結による転倒、交通事故等の危険が増し、さらなる労働災害の増加、とりわけ死亡災害や重度の障害が残る重篤な災害、一度に複数の労働者が被災する重大災害の発生が懸念されることから、労働災害防止の一層の強化が必要となる。

これら状況を踏まえ、栃木労働局及び管下労働基準監督署が主唱し、年末年始における労働災害の撲滅を目的とした「**年末年始無災害運動**」を各労働災害防止団体等とともに実施する。

2 実施期間

平成30年12月15日から平成31年1月31日まで

3 運動スローガン

『みんな感謝の総点検 笑顔で迎える 年末年始』

(中央労働災害防止協会 第48回 年末年始無災害運動スローガン)

4 災害防止の重点事項

- (1) 死亡労働災害の撲滅 (特に交通労働災害の撲滅)
- (2) 転倒災害の撲滅
- (3) 墜落・転落災害の撲滅
- (4) はさまれ・巻き込まれ災害の撲滅

5 栃木労働局の実施事項

- (1) 災害防止団体等に対する啓発、広報の実施
- (2) リーフレットの作成・配布、広報の実施
- (3) 各種会合等における周知徹底
- (4) 栃木労働局ホームページによる周知

6 各労働基準監督署の実施事項

- (1) 管内の実情にあった無災害運動の展開
- (2) 建設業に対する監督指導等の実施
- (3) 各種会報・機関紙等への掲載依頼
- (4) 各種会合・説明会等における本運動の趣旨の徹底
- (5) その他各署独自の推進運動

7 事業場の実施事項

- (1) 経営トップによる「安全衛生方針」の決意表明
- (2) リスクアセスメントおよび労働安全衛生マネジメントシステムの積極的な導入・定着
- (3) KY（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
- (4) 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
- (5) 安全保護具・労働衛生保護具の点検と整備
- (6) フルハーネス型墜落制止用器具（安全帯）着用の義務化を見据えた用具の確認
- (7) 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- (8) 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- (9) 交通労働災害防止対策の推進
- (10) 安全衛生パトロールの実施
- (11) 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- (12) 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底
- (13) 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- (14) 過重労働をしない・させない職場環境づくり
- (15) 健康的な生活習慣（睡眠、飲酒）に関する健康指導の実施
- (16) インフルエンザ等の感染予防対策の徹底
- (17) 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
- (18) 安全衛生旗の掲揚および年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
- (19) その他安全衛生意識高揚のための活動の実施